

地方創生拠点整備交付金関係事業の実施結果(3年目)

事業評価

1. 非常に有効であった。
2. 有効であった。
3. 有効とは言えない。

計画 (PLAN)			実施 (DO)		評価 (CHECK)								改善 (ACTION)			
No	事業名	事業内容	実績額	実施結果	本事業におけるKPI・課題・主な事業費(単位:千円)							外部有識者からの評価		今後の取組		
			単位:円									事業評価	意見			
1	いわでもよいよい推進事業「ねごろ歴史の丘」観光拠点整備	道の駅に認定された「ねごろ歴史の丘」に新たな施設を建設し、不足している、団体利用が可能なトイレ、休憩施設、観光情報施設、物品販売所を設ける。完成後は、その新規観光拠点を活用するため、プロモーション活動を実施し、さらなる観光振興及び雇用の創出を図る。	R1 4,305,058	観光プロモーション事業として、四国・中国地方や大阪方面の旅行会社を訪問、また、姫路お城まつり、ご当地キャラ博in彦根など各地のイベントで観光PRを実施し誘客を図った。観光イベント事業として、11月23日に開催された「紀州根来寺かくばん祭り」では、大塔前広場の特設舞台をメイン会場として根来鉄砲隊演武や獅子舞など催しが行われ、5,000人の方にお越しいただいた。また、当日はテレビ番組のロケが会場を訪れ、芸能人が特設舞台に上がるなど会場は大いに盛り上がりとともに、後日、テレビでイベント会場の様子が放送され観光PRにつながった。観光促進事業として、道の駅に立ち寄る観光バスに助成金を交付する「バス助成事業」を行い、立ち寄り客の増加による、消費の拡大を図った。また、旧和歌山県議会議事堂において「出張！なんでも鑑定団in岩出」の公開収録を行い、7月2日に放送されたことで、全国的に広く本市及び旧和歌山県議会議事堂のPRを実施した。	本事業におけるKPI		事業開始前		H29	H30	R1	R2	増加分の累計	1. 非常に有効であった。	令和元年度の重要業績評価指標の実績値や根来地域の観光施設における入込客数の増加から、事業効果が認められる。更なる活用を図るためには、観光客の分析を行い、効果的なプロモーション活動、イベント等を実施するとともに、リピーター客を増やすため、ここにしかない商品や体験型観光の提供が必要である。また、新型コロナウイルス感染症により、観光客減少、外出自粛などで、地域の多様な産業に大きな影響を与えているため、感染防止を徹底するとともに、雇用維持や事業継続も優先して取り組んでいただきたい。	根来寺6棟の国重要文化財指定、根来寺遺跡展示施設オープン的好機を活かし、「いわでもよいよい推進事業ローカルブランディング計画」と連携しながら、観光地として知名度・魅力を高め、根来のブランドイメージを確立するためのプロモーション活動、イベント事業に取り組む。
					指標	新規観光拠点施設売上人数	0人	目標値	10,000	30,000	20,000	8,000	68,000人			
								実績値	10,505	30,703	33,800		75,008人			
						新規観光拠点施設における新規雇用者数	0人	目標値	3	1	1	1	6人			
								実績値	7	1	0		8人			
					課題		立ち寄りの観光客は増加しているが、旅行の目的地ではないため、滞在時間が短く、観光消費が少ない。観光地としての知名度をあげることで、立ち寄り地から目的地にするとともに、観光客の購買意欲を刺激する地域産品の開発が必要である。									
主な事業費(単位:千円)		観光プロモーション事業 (802千円) 観光イベント事業 (2,500千円) 観光促進事業 (1,003千円) ※地方創生拠点整備交付金を活用した観光拠点整備事業は平成29年度で終了。令和元年度は関連事業により更なる誘客や雇用の創出を図る。														